

【基本施策5】 「みる」「支える」スポーツの推進

			所属名	スポーツ振興課		
事業No.	事業名					
36	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントやスポーツ教室の開催					
事業概要	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。					
計画目標	拡充	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した		コロナ影響	無
令和5年度実績	①めぐろスポーツまつり ・硬式テニス（鈴木 貴男さん）、ソフトテニス（山口 大地さん） ②2020大会レガシー事業 ・テコンドーデモンストレーション見学及び体験教室（山田美諭さん、鈴木セルヒオさん、岸田留佳さん） ・トップアスリート交流事業（迫田さおりさん、高橋礼華さん、水鳥寿思さん） ③指定管理者事業 ・駒場体育館 オリンピアン（競泳 末永雄太さん） ・区民センター体育館 元日本代表選手（ソフトテニス 山口大地さん） ・碑文谷体育館 ・碑文谷体育館 初心者ジュニア野球教室（元プロ野球選手 一場 靖弘さん） ・中央体育館 B3リーグ「しながわシティーバスケットボールクラブ」によるバスケットボールクリニック ・八雲体育館 トップアスリートふれあい事業（セパタクロー 玉置大嗣さん、体操 鹿島文博さん）、Fリーグ選手によるジュニアフットサル（バルドラール浦和 米川正夫さん） ・宮前庭球場 プロテニス選手によるテニスクリニック（元テニスプレーヤー 吉田友佳さん）					
評価の理由	新型コロナウイルスの影響もほぼなく、様々なトップアスリートとの交流事業を実施することができ、区民の方々にスポーツへの興味関心を持ってもらうきっかけづくりができた。					
課題など	オリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技を中心とした障害者スポーツ競技にも、より関心をもってもらえるよう、障害者スポーツ競技のトップアスリートに協力をしてもらい、イベント等の開催の継続が必要である。					

			所属名	スポーツ振興課		
事業No.	事業名					
37	スポーツ表彰					
事業概要	スポーツを通じて優秀な成績を収めた区民及び団体を表彰し、その功績を称えることにより、区民にスポーツを奨励する。また出場した大会等の情報をホームページに掲載する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した		コロナ影響	無
令和5年度 実績	・ 国際大会 個人3人 ・ 全国大会 個人6人、団体2件 ・ 関東大会 個人4人、団体4件 ・ 東京都大会 個人15人、団体8件 計42件					
評価の理由	目黒体育協会や区内私立学校等への照会のほか、区報やSNSで周知を行い、多くの成績を表彰することができた。					
課題など	表彰制度のさらなる周知・表彰対象者の情報収集方法など。					

		所属名	教育政策課			
事業No.	事業名					
38	児童・生徒表彰					
事業概要	様々な活動の場において優れた活躍のあった児童・生徒を応援するため、表彰を行う。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した		コロナ影響	無
令和5年度実績	個人 スポーツ関連31名					
評価の理由	様々な活動の場において優れた活躍のあった児童・生徒を表彰することで、他の児童・生徒を含めて今後の励みとすることができた。					
課題など	特になし					

		所属名		スポーツ振興課	
事業No.	事業名				
39	障害のある人となない人がともに行うスポーツ事業の実施				
事業概要	障害のある人となない人がともに行うスポーツ活動の機会を提供する。				
計画目標	拡充	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した	コロナ影響	無
令和5年度 実績	【駒場体育館】 ・ふれあい広場：3回 62人 ・みんなでダンス：1回 16人 【区民センター体育館】 ・ふれあいスポーツフェスティバル（事業は実施したが障害者の参加者はいなかった） 【碑文谷体育館】 ・リレーションシップバランスボール 14人 【中央体育館】 ・ふれあい体操 11日 146人 ・ふれあいスポーツ広場 11日 89人 ・スポーツde障がい者交流会 1日 145人 ・区民交流ポッチャ大会 99人 【八雲体育館】 ・めぐろふれあいフェスティバルdeスポーツ 1日 123人 ・親子で楽しむ！ふれあい体操 6日 12人（6組） 【砧野球場・サッカー場】 ・砧ふれあいスポーツ教室 1日 25人 ・砧ふれあいスポーツ広場 1日 25人 【碑小学校屋内プール】 ・ふれあい水泳教室 5日間 101人				
評価の理由	障害者スポーツ指導員などを中心に、障害のある人となない人がふれあえるような教室・講習会及び交流機会等を実施した。				
課題など	参加者が少ない教室などもあるため、実施方法や周知の仕方等について引き続き検討し、スポーツを通じてより多くの人にコミュニケーション機会の場を提供できるよう取り組む必要がある。				

		所属名		スポーツ振興課	
事業No.	事業名				
40	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントやスポーツ教室の開催　＜再掲　事業番号36＞				
事業概要	トップアスリートを招へいしたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。				
計画目標	拡充	目標に対する評価	B:計画目標を　達成した	コロナ影響	無
令和5年度 実績	①めぐろスポーツまつり ・硬式テニス（鈴木　貴男さん）、ソフトテニス（山口　大地さん） ②2020大会レガシー事業 ・テコンドーデモンストレーション見学及び体験教室（山田美諭さん、鈴木セルヒオさん、岸田留佳さん） ・トップアスリート交流事業（迫田さおりさん、高橋礼華さん、水鳥寿思さん） ③指定管理者事業 ・駒場体育館　オリンピック（競泳 末永雄太さん） ・区民センター体育館　元日本代表選手（ソフトテニス　山口大地さん） ・碑文谷体育館　・碑文谷体育館　初心者ジュニア野球教室（元プロ野球選手　一場　靖弘さん） ・中央体育館　B3リーグ「しながわシティーバスケットボールクラブ」によるバスケットボールクリニック ・八雲体育館　トップアスリートふれあい事業（セパタクロー　玉置大嗣さん、体操　鹿島文博さん）、Fリーグ選手によるジュニアフットサル（バルドラール浦和　米川正夫さん） ・宮前庭球場　プロテニス選手によるテニスクリニック（元テニスプレーヤー　吉田友佳さん）				
評価の理由	新型コロナウイルスの影響もほぼなく、様々なトップアスリートとの交流事業を実施することができ、区民の方々にスポーツへの興味関心を持ってもらうきっかけづくりができた。				
課題など	・オリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技を中心とした障害者スポーツ競技にも、より関心をもってもらえるよう、障害者スポーツ競技のトップアスリートに協力をしてもらい、イベント等の開催の継続が必要である。				

		所属名		スポーツ振興課	
事業No.	事業名				
41	障がい者スポーツ指導員（初級）取得者の活用				
事業概要	障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者を対象に、障がい者スポーツ指導者として活動ができるよう、環境を整備する。				
計画目標	新規	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した	コロナ影響	無
令和5年度実績	令和5年度目黒区スポーツボランティア登録者数：20名				
評価の理由	スポーツボランティア登録者数は令和4年度と比べ4倍に増加した。				
課題など	比較的新しい制度ということもあり、現在登録者数が少ない状況である。そのため、パラスポーツ指導員養成講習会修了者へのボランティア登録制度の周知に努めることが必要である。また、パラスポーツ指導員取得者の活用を図っていくため、指定管理者に対して、ボランティア登録者の積極的な活用について働きかけていくことが引き続き必要である。				

		所属名		文化・交流課	
事業No.	事業名				
42	東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えたボランティアの育成				
事業概要	東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えた、目黒区の魅力発信のための研修会や講座等を開催し、ボランティアの育成を図るとともに、活躍できる環境づくりに努める。				
計画目標	新規	目標に対する評価	B:計画目標を 達成した	コロナ影響	無
令和5年度 実績	①外国人と楽しむ観光まち歩き（目黒区国際交流協会） 参加人数：19名（うち外国人15名） 内容：外国人とボランティアが共に楽しむ観光まち歩きを行った。 ②防災語学ボランティア 登録者数：64名　登録言語数：10言語 内容：地震などの災害が発生したときに、日本語の分からない外国人区民等を支援する防災語学ボランティア制度 ③観光ボランティアガイド養成講座（めぐろ観光まちづくり協会） 参加人数：26名 内容：観光ボランティアの役割等の講義、実地研修等 ④観光ボランティアガイドによるまち歩き事業の実施（めぐろ観光まちづくり協会） 参加人数：計14名 内容：団体等からの依頼においてボランティアガイドを派遣した。				
評価の理由	事業としては、コロナ禍以前に戻っているものの、実施回数等は以前並みには戻っていない。				
課題など	コロナ禍を機に、団体でのまち歩き事業の依頼が減っており、ボランティアを希望する方も減っているため、活動の機会を増やし、ボランティアを確保していくことが課題である。				